

7. 生産・出荷・在庫

生産は、このところ横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。

(%)

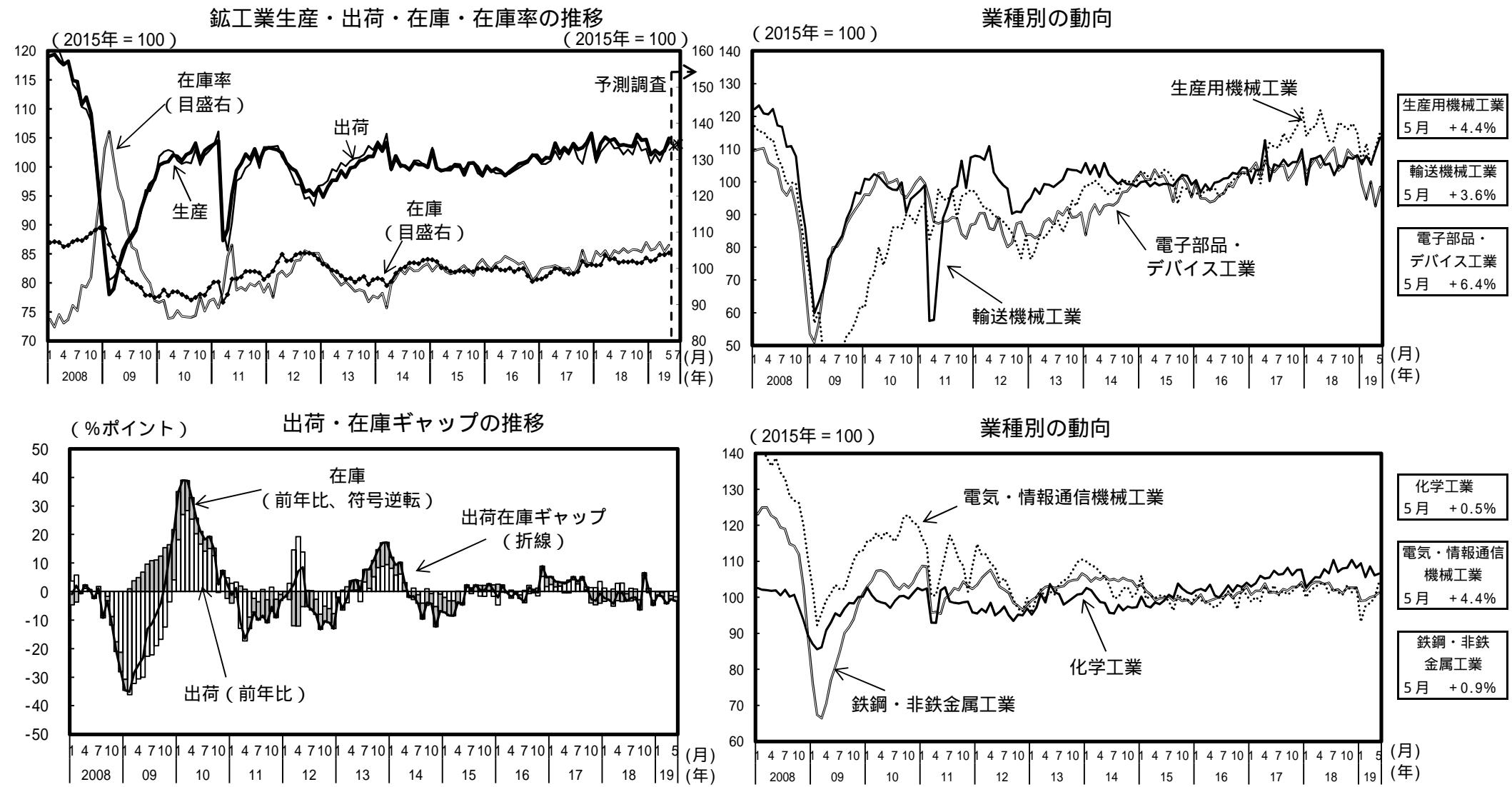
	[2017年] 2017年度	[2018年] 2018年度	2018年 7 - 9月期	10 - 12月期	2019年 1 - 3月期	2019年 3月	4月	5月	予測調査 6月 1.2% 7月 0.3%
鉱工業生産指数	[3.1] 2.9	[1.1] 0.3	(0.7) 0.1	(1.4) 1.3	(2.5) 1.7	(0.6) 4.3	(0.6) 1.1	(2.0) 2.1	
鉱工業出荷指数	[2.5] 2.2	[0.8] 0.2	(1.2) 0.3	(1.0) 1.1	(2.1) 1.6	(1.3) 4.0	(1.8) 1.4	(1.3) 1.8	
鉱工業在庫指数	[4.1] 5.1	[1.7] 0.2	(0.4) 3.5	(0.9) 1.7	(0.9) 0.2	(1.4) 0.2	(0.0) 1.2	(0.5) 1.5	
製造工業生産能力指数 (2015年 = 100)	[99.3] 98.8	[98.7] 98.7							
製造工業稼働率指数 (2015年 = 100)	[102.3] 102.7	[103.1] 102.5	(101.9)	(104.7)	(100.5)	(100.6)	(102.2)	(103.9)	
第3次産業 活動指標	[0.8] 1.1	[1.1] 1.1	(0.1) 0.7	(0.9) 1.6	(0.0) 1.0	(0.4) 0.7	P(0.8) P 1.2	P(0.2) P 0.5	

(備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」「製造工業生産予測調査」「第3次産業活動指標」により作成。Pは速報値。

2. 鉱工業生産・出荷・在庫指数、第3次産業活動指標の暦年・年度の下段は前年度比、上段の[]内は前年比。四半期・月次の下段は前年同期(月)比、上段の()内は季節調整済前期(月)比。

3. 製造工業生産能力指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は原数値。

4. 製造工業稼働率指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は季節調整値。



(備考) 経済産業省「鉱工業指数」により作成。出荷・在庫ギャップ = 出荷(前年比) - 在庫(前年比)。